

(8) 1年鑑賞 課題探究的な鑑賞の指導展開例

題材 情景の変化と曲想との関わりを感じ取りながら鑑賞しよう。

教材 「ブルタバ（モルダウ）連作交響詩『我が祖国』から」スメタナ作曲（1年P48～51）

本題材で扱う学習指導要領の内容

B 鑑賞 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

〔共通事項〕 音色（オーケストラの楽器の音色）、リズム、速度、旋律、強弱

題材の目標

- (1) 情景の変化や音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。
- (2) 楽器の音色や重なり、速度や強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取り、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
情景の変化や音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	楽器の音色や重なり、速度や強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取り、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

題材の展開例（3時間扱い）

時	○主な学習内容 ・活動	○評価 ◆評価方法
1	<p>○オーケストラで使われている各楽器の音色を知覚し、その特質を感じる。</p> <p>・オーケストラの紹介をしている映像や、教科書の写真を参考にしながら、オーケストラで使われている楽器の形や音色の特徴を確認する。</p> <p>○作曲者の祖国への思いや、この曲が作られた当時の時代背景を理解する。</p> <p>・教科書の解説や映像等から、作曲者の人生やこの曲が作られた時代背景について知る。</p> <p>○標題ごとの音楽の特徴を知覚・感受する。</p> <p>・「ブルタバの二つの水源」「ブルタバの主題」を聴取し、標題が変わる場所（音楽の雰囲気が変わる場所）を見つけ、標題が変わるところでどのような変化があったのかを聴き取り、標題によって音楽の特徴の違いがあることを知る。</p>	

【学習課題】 各標題の雰囲気の違いは、音楽の何によって生み出されているのだろう		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「森一狩り」「村の結婚式」を聴取し、場面ごとに感じ取った情景や曲想について、グループで交流する。 ・二つの情景の違いを、音楽でどのように表現しているのか、音楽を形づくっている様々な要素から探し出し、グループで交流する。 ・グループで交流したことを全体で交流し、二つの場面を再び鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦各標題の曲想の違いに関心を持ち、音楽の特徴を聴き取る活動に主体的に取り組もうとしている。 ◆観察、ワークシートの記述
2	<ul style="list-style-type: none"> ○二つの標題を聴取し、それぞれの音楽の特徴を知覚・感受する。 ・「月、水の精の踊り」「聖ヨハネの急流」をそれぞれ聴取し、二つの曲想の違いを感じ取り、そう感じる根拠を、音楽を形づくっている様々な要素から探し出す。 ・曲想の違いとそう感じる根拠を全体で交流し、二つの場面を再び鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ○全曲を味わって鑑賞しながら学習を振り返る。 ・各標題の曲想と音楽を形づくっている要素の働きを意識しながら、全曲を聴く。 ・四つの標題「森一狩り」「村の結婚式」「月、水の精の踊り」「聖ヨハネの急流」の中から「自分が一番気に入った標題」を選び、紹介文にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦曲想の変化と音楽を形づくっている要素との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆観察 <ul style="list-style-type: none"> ㊦楽器の音色や重なり、速度や強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。 ◆ワークシートの記述
3	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介文を交流し、知覚・感受したことや曲に対する価値判断を共有する。 ・前時の学習を振り返りながら、四つの標題「森一狩り」「村の結婚式」「月、水の精の踊り」「聖ヨハネの急流」を聴取する。 ・場面ごとの音楽的な特徴と、感じ取った曲想との結び付きを意識しながら、自分が書いた紹介文を確認する。 ・グループでお互いの紹介文を発表しあい、自分と他の人の紹介文の共通点や相違点について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○グループからおすすめの紹介文を推薦し、全体で交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習のまとめとして、「ブルタバ」を通して鑑賞する。 ・他のグループの紹介文から見つけた、自分と異なった聴き方も意識し、曲想の変化と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取りながら、全曲を味わって鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦自分と他者の鑑賞の仕方の共通点や相違点に関心を持ち、楽曲全体を味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。 ◆観察 <ul style="list-style-type: none"> ㊦楽器の音色や重なり、速度や強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取り、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ◆観察、ワークシートの記述

標題を通して「フルタバ」を味わおう

～スメタナはそれぞれの標題をどのように表現したかったのだろうか？～

1年 組 番 氏名 _____

① 次の2つの標題を聴き、標題が移り変わる時にどのような変化があるのか、考えてみよう。

「フルタバの二つの水源」

↓
「フルタバの主題」

- ・ 楽器が変わった
- ・ トライアングルが合図のように鳴った
- ・ 静かな場面から音が増えた
- ・ 細かい音がなめらかになった
- ・ 音楽が流れるような感じに変わった

①と②は、自分が聴き取ったものを記入し、全体交流やグループ交流を通して確かにそうだなと思ったこと、新たに感じたことがあれば、赤で書き足す。

② 次の2つの標題を聴き、感じ取った情景や、そのように感じた理由をまとめ、線で結んでみよう。

標題	感じ取った情景や曲想、雰囲気	音楽のどんなところからそう感じたか
「森一狩り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優雅な感じ ・ 馬を走らせている ・ 広い草原で狩りをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚みのある音 ・ 金管楽器の音色が華やか ・ 付点のリズム
「村の結婚式」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい、楽しい ・ ダンスをしている ・ 跳ねている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弾んだリズムを繰り返している ・ 音が短い ・ 軽快な速さ

<①②の評価>

④ 自分が聴き取ったことが書かれていればB、左右を積極的に線で結ぼうとしていることが読み取れたり、全体交流やグループ交流を通して新たに感じたことを赤で追加したりするなど、質的に高まりが見られるものをAとする。

③ 次の2つの標題を聴き、感じ取った情景にどんな音楽の特徴があるのかをまとめ、線で結んでみよう。

標題	感じ取った情景や曲想、雰囲気	音楽の特徴
「月、水の精の踊り」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静かな夜の雰囲気 ・ 妖精が踊っている ・ 美しい川の様子 ・ キラキラした感じ ・ ゆったりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 高い音が多い とても遅い 弱い ハーブが印象的 <p>速度 強弱 音色</p>
「聖ヨハネの急流」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川の岩に当たっている ・ 渦をまいている ・ 濁流にのまれていく感じ ・ 勢いよく川が流れている ・ 暗くて重たい感じ 	<ul style="list-style-type: none"> 速い 強い 差が激しい 打楽器が目立つ 低い音が多い

<③の評価>

④ 知覚（音色、速度、強弱）と感受（感じ取った曲想）の妥当な結びつきが、それぞれの場面で認められればB、感受の記述が豊かで具体的であり、それらが知覚と複数結び付けられ、質的な高まりが認められればAとする。

④ 次の4つの標題の中から自分が一番気に入った標題を選び、自分が感じた良さや美しさを伝えよう。

- ・ ②や③で線を結んだことを生かして、自分が感じ取った情景と音楽的な特徴を結びつけて書いてみよう。
- ・ なぜその標題を選んだのか、理由も記入しよう。

「森一狩り」 「村の結婚式」 「月、水の精の踊り」 「聖ヨハネの急流」

標 題 「 月、水の精の踊り 」

私が一番気に入った標題は「月、水の精の踊り」です。理由は、4つの標題の中で一番情景が想像しやすく、静かな夜の川に、きれいな水の精がゆらゆらと踊っている様子が想像でき、ゆったりとした優しい感じの音楽が気に入ったからです。フルートやヴァイオリンが、柔らかくてきれいな音色で演奏していて、月の光が映る、美しい川の情景が思い浮かびました。また、全体的に強弱が弱いので、静かな夜に穏やかに流れている川の様子も想像できました。途中に出てくるハーブの美しい音色は、キラキラと光る水の精を表現しているように思いました。

<④の評価>

知覚ととらえる記述
感受ととらえる記述
標題を選んだ理由

④ 紹介文は知覚と感受に関わる部分を文章から読み取る。学習した内容に対しての知覚（音楽の特徴）と感受（感じ取った曲想）が整合して書かれていればB、なぜその標題を選んだのかが明確で、知覚と感受に関する記述が複数認められ、質的な高まりが見られる場合はAとする。